

かえでゆうびん 11月号

2023年11月1日 社会福祉法人 清松学園 幼保連携型認定こども園 か え で 保 育 園 園 長 引地 美津代

すっきりと澄み渡った空、そして少しキーンと肌が引き締まるような 冷たい風・・10月後半はそのような季節になるはずが、まだまだ日中 の気温が25度と「大好きな秋」を感じることなく冬になってしまうの でしょうか?最近は季節の変わり目がおかしく、日本の四季はどこに行ってしまったのか不安になります。

そんな中、先日、山形県庄内に保育施設の視察に行ってきました。園庭や保育室にこどもたちだけでなくみんなが毎日わくわくできる仕掛けがたくさんある環境でした。子ども自身がしっかり状況を理解し、自らで行動を起こすことのできる環境であり、保育者との素敵なかかわりも見させていただきました。

園庭の真ん中で焼き芋・窯で炊くご飯などが自然に提供されており、皆が当たり前に焼けた焼き芋をほおばり、炊きたてのご飯で握られたおにぎりをめいめいが思う場所で嬉しそうにほおばる姿に心が温かくなれました。以前にかえで保育園でも取り組んでいましたが、感染症対策に追われ、いつの間にか遠のいていた活動がよみがえってきました。

園庭でめいめいがやりたいことを進めている中、お芋が焼けるいい匂い やご飯が炊ける匂いに自然に集まり、皆が嬉しそうに手にしていました。ランチルームでバイキングも楽しいですが、いい季節、青空を見な がら自然にできた野菜やご飯をおなか一杯食べる。そんなーコマに様々 な五感を刺激されていた時間でした。

かえで保育園でもこれから冬までの期間、子どもたちと様々な五感を感 じながら様々な体験を深めていきたいと思います。

11月6日より保育参加が長い期間で進めていきます。どうぞかえででの生活を親子で楽しんでいただき、保護者の方も園生活を楽しんでいただきたいと思います。

玄関先の「杉玉」もだいちと一緒に作っています。 今年はどんな形になっていくかどうぞ見守って ください。本来は新酒ができたという印ですが 今年も元気で楽しめますようにという思いを込めて 作っています。

ダンデイタイム・かえでカフェを行うにあたり保護者の方々からやって みたいことを募集します。

おねがい

- 服装
- 日中はまだまだ半そでで過ごします。夕方にはトレーナーや上に羽織 もので体温調整をします。
- ・下着について 基本下着は綿 100%を着用してください。ヒートテックなど化繊のもの は不適当です。
- ・紅白帽子・登園帽は週末には洗濯してください。

おしらせ

11月の予定

- ・13日(月)だいちぐみ 園外保育*詳細は後日お知らせします。行き先を子どもたちで考えています。
- 20日(月)避難訓練
- 21日(火)ブラッシング指導(幼児クラス対象)*幼児クラスは歯ブラシをご用意ください。山口歯科の先生に指導して頂きます。
- 24日(金)月例健診
- 28日(火) 移動動物園
 - *どうぶつのごはんに野菜や果物をお持ちください。詳細は後日お知らせします。
- ・保育参加が始まります。皆さんで保育園生活を楽しんでください。 詳細はお知らせをご覧ください
- 今月生まれのお子様がないため誕生会は行いません。
- ・体操あそび 2・9・15・30日(木)
- ・絵画あそび 10日(金)27日(月)

12月の予定

- 16日(土)かえでフェスティバル
- *つぼみ~だいちぐみが参加します。めばえ・ふたばは家庭保育のご協力をお願いします。
- ・12月29日~1月3日 休園12月27・28日1月4・5日(1号及び家庭保育可能なご家庭は冬期休暇)

2024年1月16日(火) ひかり・だいち 雪あそび ~ 六甲スノーパーク

先生のメッセージ

かえで保育園で働き始めてから、子どもたちが様々なことに挑戦する姿に 刺激を受け、私自身も苦手なことや初めてのことにも勇気を出して挑戦 するようになりました。

私は旅行に行くことが趣味で、日本国内はもちろん色んな国に行くという 夢を小さい頃から持っており、そのために英語や韓国語の勉強を続けて きました。

学生時代にコロナが流行したということもあり、海外へは姉が住んでいる 韓国にしか行ったことはありませんが、海外へ行くと日本の良さを身に 染みて感じます。例えば日本のトイレの清潔さや接客の丁寧さ、家庭で 寿司や刺身など、普段当たり前だと思っていたことが、当たり前ではない と気付き、改めて「日本の文化」を見つめることができました。 また、それと同時に日本で生まれ育った幸せも感じました。 時代は変わっても、日本の伝統や文化は変わらず、今の子どもたちが 大人になっても受け継がれていってほしいです。これからも保育園の行事 一つ一つを大切にし、子どもたちに日本の伝統文化を伝えていきたいと 思います。

M 先生

ようやく秋を感じる季節となりました。日中はまだ暑く、半袖でも過ごせます。子供たちは 大好きなさら砂作りや泥団子作り、植物を使っての色水作りをまだまだ楽しんでいます。 これから冬に向かっての丈夫な身体作りを目指し、体が温まるような遊びの提案や仕掛けをして いきたいと思います。家族で少し早起きをしてラジオ体操をしているご家庭があるとききまし た。朝の忙しい時間、子どもを交えて家族揃っての健康作りすてきだなぁと思いました。 家族で取り組む活動でおすすめ情報があれば教えてください。

先日よりだいちさんの大冒険の日に作ったドーナツのレシピを玄関に置いています。粉をこねる 作業や揚げたてのドーナツもほっこりします。

ぜひお休みの日にご家庭で作ってみてください。

主幹保育教諭 F

温かいお料理が嬉しい季節となりました。ほくほくかぼちゃやさつまいも、さんまにきのこ、 くりごはん…素材そのものに旨味や甘みがぎゅっと詰まっている秋の味覚と、沢山出会える 11月になればと思います。

それではここで、日々の中のちいさなエピソードを一つ紹介します。

園庭で膝を擦りむいたYくんが、事務所へやってきました。

どこで、どのように転んだのか、どこが痛かったのか、担任が把握していても、子ども自身が 言葉で伝えられるようにという思いから、尋ねるようにしています。体調が優れない時や何か 困ったことに直面した時、自らの言葉で伝えられること、助けを求められることは、きっと この先環境が変わった時に大きな力になると思うのです。

「おにわのね、すなのところで…」 Y くんも一生懸命に伝えてくれました。その時、 園庭側の窓からお友だちの声が聞こえてきました。「Y くーん。ねえ、Y くーん」どうやら心配 で、姿を一目見ようとやってきたようです。その声に気付いたY くんはというと、自分のことを 気にかけてくれている友だちの気持ちが嬉しいといった様子。

「もう、わかったってば」と強がりながらも友だちの元へと戻る横顔は、笑顔で溢れていました。

誰かを待つことが、誰かが待っていてくれることが、嬉しくてたまらない…2人のやりとりは、 日々の積み重ねの中にあるのだと感じました。

仲間と過ごす時間の中で、一つずつ新しい感情が芽生えているようです。

主幹保育教諭 K

保護者からのエピソード

入園したての時は、お迎えに行くとこちらへハイハイー直線だった息子も、最近はまだ遊ぶ!!となかなか来てくれなくなりました。それだけ保育園での生活が、楽しいのだなと思うと、環境を作ってくださっている園の方々に感謝でいっぱいです。

家で一緒に絵本を読む時に、ちょこんと座って聞くようになったり、遊んでいる姿を見ながら、 園での姿を想像するのも楽しいです。

めばえ組 まいさん

最近のブームは、保育園で歌っている季節の歌を家や自転車に乗りながら歌うことです。 少し幼児発音が残っている言葉での歌は、 聞いていてとてもかわいいです。ところどころ 言い間違いがあるのも聞きどころです。

いぶき組 みきさん

保育園で納豆食べたよ~!ひじきも入っていておいしいよ!ということが増えました。本当に納豆をおいしく食べているのかな?!と思いつつ、私は幼い頃から納豆が苦手なので、食卓に出すことはなかなかありませんでした…。保育園でおいしく食べていることを知り、お家でも納豆を出してみると、どのおかずよりも納豆に目をキラキラ輝かせておいしそうに食べる姿を見て感動しました。私の好みで子どもたちの食育の妨げになっていたことを反省すると共に、保育園でみんなと一緒に食べるおいしい楽しい給食や食育の大切を改めて感じました。13歳の兄も、かえで保育園で納豆を食べられるようになったと言っていました。息子たちが納豆をおいしく食べられるようになったのは、かえで保育園のおかげです。

たくさんの気付きをありがとうございました。今では冷蔵庫の中には、 必ず納豆がある毎日になりました!!

いぶき組 たかこさん

言葉も達者になり成長を感じます。 「叱るならちゃんとわたしを納得させて!」 と叱られました。

だいち組 ようじさん

今日もふたばさんのお部屋に来てくれましたよ~といつも妹の部屋に行って、妹や他のお友だちのお世話をしているお世話好きな姉。家ではお互いがやっていることが気になって取り合いケンカすることも多いですが、妹は自ら姉のお膝に座りに行ったり、手を繋ぎに行ったり、姉を頼りにしているようです。これからも2人仲良く過ごしてほしいです。

ふたば・ひかり組 さきさん

自分やりたいで!から、誰かのためにして あげたい!という思いが増えて、お手伝いを 良くしてくれるようになりました。私が失敗を したときは、「大丈夫だよ。次はできるよ!」と はげまされるぐらいです♪

ひかり組 あやかさん

今年の4月に弟が出来て、半年が経ち、 すっかりお姉ちゃんらしくなりました。 家のお手伝いを「おてつだいするー」と 言いながら色々してくれます。

つぼみ組 ゆうきさん



10月の子どもたちのようす





暑さで夏の間お休みしていたお散歩にでかけました。 久しぶりのバギーに乗ると、るんるん揺れたり、道を走って いるトラックや車に手を振ったり、マンション近くの金木犀に 手を伸ばしたり、園外の自然や環境に興味津々でした。 今後はバス停や公園など少し遠い所へも出かけていく 予定です。





毎朝、絵本や手遊びを皆であつまり楽しんでいます。 保育者が絵本を持っていることに気が付くと、すぐに 近くに集まりわくわくした表情で待っていてくれます。 今特に人気の絵本は「いないいないばあ」と「だるまさん」 シリーズです。

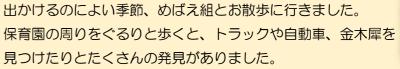
手遊びでは「あたまかたひざぽん「ぱんだうさぎこあら」 「しあわせならてをたたこう」「いっぽんばし」が大好きで、 よくジェスチャーでリクエストをしてくれます。



とうもろこし、おくらに続き、「ブロッコリー」の栽培を 始めました。小さく白い毛が沢山あり、触るとチクチク していたおくらの葉っぱとは違い、柔らかくふわふわした 葉っぱを触ってみたり、「おおきくなあれ」と願いを込め ながら水やりもしています。栽培を通じて野菜の成長を 共に喜んだり、食べることの楽しさを味わえるように したいです。









これからもお散歩を通じて「歩く」経験を増やしていきたいです。



「痛いところはありますか?」「お薬どうぞ」と医者や患者に なりきって遊ぶ姿が見られます。みんなで人形の赤ちゃんを診 て、優しく世話をしたり友だちや保育者とのやり取りを楽しん だり、ごっこ遊びが広がっています。



カブの栽培を始めました。プランターに軽石を詰め、土を入れて種をまくところから子ども達と一緒に育てています。 プランターから芽がでてきたときには、種が芽になる変化に驚いたようでみんなで喜びました。「芽がでたね」と手で芽を表現したり、

「もっと大きくなるかな」と水やりをしたりしてカブの成長にワクワクしています。

これからも、子どもの気づきや姿を共有していきます。







春に園庭に咲き乱れることを想像しながら、ネモフィラとホワイトクローバー の種を蒔きました。「友だちが踏まないような場所に蒔いてきて」と伝えると、 友だちと話をしながら、好きな場所を探し、子どもたちがまた一つ大きく なる頃にきれいな花が咲くことを楽しみにしています。





タンバリンや鈴、カスタネットなど、歌に合わせて自由に音を鳴らして 楽しんでいます。友だちと同じリズムで音を出したり、音の違いを感じたり、 子どもによって様々な楽しみ方がありました。







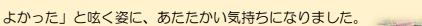
きりかとるるこの家づくり

以前、空き箱や段ボールを組み合わせて「ももいろのきりん」に登場する キリカを作った経験から、次はキリカとるるこの家を作りたいという 思いが芽生え、いざ作ることに。「るるこちゃんとキリカが入るぐらいの 大きさでしょ…」「でも窓から首が出ちゃうんだよね」と実際に出てきた 場面を思い出しながら試行錯誤しています。どんなお家が完成するのか 楽しみです。



思いを込めてお手紙をおくろう

だいぼうけんの日を迎えるだいち組の話を子どもたちにした時のことです。 「夜の暗い時間まで保育園にいて、沢山のことに挑戦するんだって」と伝えると、 「がんばって」「楽しんでねって伝えたい」意見が出てきたので、どうやって伝えるのかを 相談した結果、お手紙を書くことにしました。相手を思い浮かべて封筒の色を選び、 丁寧に折って封筒作りから。はみ出ないように慎重に糊付けをして、思いを込めた手紙を だいち組が作ったポストに投函し、ゆうびん屋さんに届けてもらいました。 手紙を目の前で開けて見られるのは、少し照れくさかったようですが、「喜んでくれて





内緒の手紙

プラネタリウムの館長さんへ手紙を出しに郵便局へ行った際、ポストに興味を持ったH君。 ポストが完成し、にこにこ広場に飾り郵便ごっこをどのようにしようか計画中です。 だいぼうけんの日の前日に「ポストにこんなにたくさん手紙が入ってる!」と保育者や 友だちに見せていました。「誰からの手紙かな?」と考えるだいち組の後ろで口元を 隠しながら嬉しそうに様子を見ていたひかり組の子ども達でした。 だいぼうけんの日に"夜暗い時も大丈夫だよ"の気持ちを込めて内緒の手紙を用意して くれていました。「これ僕!うれしいな、ありがとう」「だいぼうけんの日の話聞いてね」と 照れながらもペアの子に感謝の気持ちを伝える機会になりました。



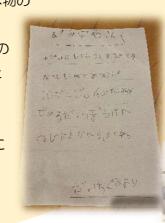




念願!ねずみばあさんに会う

だいぼうけんの日にむけての話し合いの中で「夜だったらねずみばあさんに会えるかもしれ ないよ」「おしいれの中に入って冒険に行きたい」とねずみばあさんに会えることを心待ちに していました。当日にはねずみの足跡、ねずみばあさんからの手紙に大興奮。手紙に書いて あった"たいせつな箱"の鍵探しでは5チームに分かれて真っ暗な部屋で鍵を探す大冒険に 出かけました。みんなで見つけた鍵を届けるために絵本室に行くと…本物の

ねずみばあさんが!鍵を見つけてくれたお礼にとたいせつな箱を プレゼントしてもらいました。「ねずみばあさんの大切な箱なのにいいの かな…」と涙ぐみながら話す子、会えた嬉しさとドキドキして怖かった 気持ちで涙する子と様々でした。ねずみばあさんごっこという名前で、 だいち組が体験したことが遊びとなり役になりきっています。思いは それぞれですが、だいち組 18 人で力をあわせたことが、次への 1 歩に 繋がる自信となるよう友だちと関わる機会を増やしていきたいです。



お台所から



さつまいも

今月はさつまいもごはん、焼きいもを献立に入れました。

やきいもの日、アルミホイルに包む作業をだいちさんに手伝ってもらいました。 大きなたくさんのさつまいもに「これ全部使うの?」とみんなびっくりした様子で 包んでいました。

包んださつまいもがおやつでホクホク!!、「さっきのさつまいもだ!」と 嬉しそうに食べてくれました。



だいぼうけんの日

お昼にパプリカバーガー屋さん、夜ご飯はお祭りの屋台をしました。

パプリカバーガー屋さんでは、バンズの中にレタス・チーズ・パプリカ、お肉をはさみ、 とっても美味しく仕上がりました。

お祭りの屋台では、パプリカや鶏肉が串にささった焼き鳥屋さん、ツナマヨや鮭が具材の おにぎり屋さん、たこ焼き屋さん、トッピングがたくさん選べるドーナツ屋さんをオープン しました。

「どの屋台から行こうかな?」「トッピングは何にしようかな?」とワクワクしながら 楽しんでいる様子でした。



秋晴れのさわやかな日にひかり、だいちの子どもたちで稲刈りをしました。 「おいしいおこめができますように」と植えた小さな苗。

暑い夏には「おみずがからっぽ」とホースをのばして水やりをしてくれた子どもたち。 お米の成長を友だちと喜び合う姿がたくさん見られました。稲刈りでははさみや 大きな枝切ばさみも使い、ドキドキしながら根っこのほうをザクっと切ると「おこめ とれた」と歓声があがっていました。だいちぐみは一足お先にだいぼうけんの日に いただくことができました。「おいしい」「もちもちしてる」と大満足。

今度はいぶきやひかりの友だちにもお米にする方法を教えてあげ、いただきたいと 思います。



ゆでたまご

ゆでたまごが献立に登場し、だいちさんにはゆでたまごの殻をむく体験をして もらいました。「僕むいたことあるよ」という子もいれば、「私は初めて!」と ドキドキしながら初めて剥く体験をする子もいました。

「きれいにむけたよ」「全然割れない!」と苦戦しながらも楽しそうな様子で、 カレーライスにトッピングしている子、サラダと一緒に食べている子、そのまま 食べている子などみんなそれぞれ自分で剥いた卵を嬉しそうに食べていました。



11月の予定している食育活動

11月はお誕生日会がない為、お楽しみメニューとして ハンバーガー、おやつにはカップケーキが登場します。

また、ひかり・だいちさんが芋ほり遠足でたくさんとってきてくれた お芋を使ってポテトサラダや大学芋、スイートポテトに変身させたいと 思います。

そして季節の献立としてけんちん汁や栗が登場します。お楽しみに!



11月のあそびへの思い

めばえ

過ごしやすい季節になりました。園庭では、子どもたちの探索範囲が どんどん広がってきています。外階段を一人で登り切り、よくお世話を してくれる顔見知りのお姉さん・お兄さんを見つけ幼児のお集りに参加 して歌を聞いたり、幼児さんと滑り台を滑ってみたり、ボールを追いかけ たり、鉄棒にぶら下がってみたり…自ら保育者の側から離れ興味のある 場所へどんどん進んでいっています。"保育者と一緒"から"離れても 大丈夫"と目的の場所まで進み、振り返って笑顔を見せてくれる姿に、 保育園の存在が子どもたちにとって、安心して自由に過ごせる楽しい場所 になっていることを感じ嬉しくなりました。

また、11月はさらに秋を感じられるよう様々な色の落ち葉やどんぐりなど、自然との関わりも体験していこうと思います。

ふたば

日が落ちるのもすっかり早くなり、夕暮れ時には肌寒さを感じるようになりました。最近ではお友だちや異年齢で"一緒に"過ごすことが増えてきました。園庭にでるときには仲の良いお友だちと手を繋いだり、帽子を被るときに困っている様子をみると助けようとしたり、その子が帽子を被るまでじっと待ってあげたりと友だちと過ごすことの心地よさや親しみを感じているようです。異年齢での関わりでは幼児クラスのお友だちとお部屋に入ったり、お水を飲んだりとお世話してもらう喜びを感じながら過ごしています。次第に園庭で出会うと手を繋いで遊ぶようになり、関わりが深まっています。一人で遊ぶことから、他児と言葉でやり取りをしたり、関わる楽しさが広がるように見守っていきます。







つぼみ

園庭にはどんぐりや落ち葉など「自然の落し物」が見られます。葉っぱの色が少しずつ黄色に色づいていることに気が付き、「きれいだね」と秋の訪れを子ども達と一緒に感じています。色だけでなく、形の違いなど秋ならではの疑問を子どもたちなりに抱いている様子です。葉っぱやアサガオで色水を作って遊び、身近な自然物に興味を持っている姿が見られます。「きれいな色になった」「紫だからぶどうジュースにしよう」と色が出る楽しさを感じています。自我が芽生え、人との関わりも嬉しいですが、「自分が一番」少しずつ保育者が仲立ちしながら「友だちっていいな!」の気持ちを育てています。今月も散歩や、秋の歌を歌ってみんなで秋を感じながら、自然の中にある不思議や美しさを見つけていきたいと思います。

いぶき

日中の園庭は、ぽかぽか陽気に包まれていますが、夕方になると日が沈むのも早くなりました。園庭では毎日どんぐりを見つけ、葉の色の変化にも気づき、季節の移り変わりを感じながら過ごしています。先月は敬老週間もあり、たくさんのおじいちゃん・おばあちゃんに来ていただきました。「今日は誰のおじいちゃんおばあちゃんがくるの」と毎日楽しみにしていました。マスクをして距離をとる生活が少しずつ変化し、相手の顔を見て笑顔で過ごすことで、人との繋がりの温かさを感じ嬉しく思います。子ども同士の繋がり、保育者や保護者の方などの大人との繋がりなど、様々な人との出会いを大切にしていきたいと思います。

ひかり

一人から二人、二人から数人…と一人の興味がどんどん広がっていくひかり 組の子どもたち。個人のプロジェクトに自然と周りに友だちが集まり、やってみたい!のアイデアがあふれ出しています。「それいいね」「こうしたらどうかな」と互いの考えを認め合ったり、自分の考えや思いを言葉で伝える姿も見られます。それは友だちへの興味や一緒に過ごす心地よさから来ているものだと感じています。

食後に過ごす絵本室のルールの中にも、「静かに、一人一冊の本を読む」と 言うのがありますが、ざわざわとしている時があり「絵本を集中して読みた い人が、嫌な気持ちになるから」とみんなで話し合う機会がありました。友 だちと楽しく遊ぶ中で友だちのことを考えて行動したり、友だちの気持ちに 気付くきっかけになればと思います。

だいち

カレンダーを見て、指折り数えながら楽しみにしていた『だいぼうけんの日』。 「またお祭り屋さんしたい」「田んぼのお米食べたい」「みんなで星を 見たい」とだいち組が今やってみたいことをみんなで話し合い、計画して 進めてきました。だいぼうけんの日の週は、ねずみばあさんからの手紙や ねずみの足跡を見つけると、だいち組だけでなく誰かにワクワクした 気持ちや不思議を共感してほしい気持ちで様々な人に話しかけていました。 「まだ近くにいるのかな」「手紙嬉しいね」とだいち組のやってみたい 気持ちに保育者も周りの子ども達同士も寄り添う姿に嬉しく感じる 瞬間でした。

だいぼうけんの日から、ねずみばあさんへの 手紙の返事や贈り物の誕生石(かもしれない?) 調べ、星へと興味が広がってきています。 季節の変化を感じながら子ども達の小さな 気づきも一緒に見つけられる秋を過ごして いきたいです。

はまかぜ

秋になり、すごしやすい日が続き子どもたちのあそびにも秋が感じられるようになってきました。松の葉を使っておすもうをしたり、どんぐりひろいを楽しんだり、どんぐりの帽子も子どもたちには大人気で自分の頭にのせて友だちと笑いあっています。

ある日、どんぐりが欲しいけど見つからず泣きそうになっているいぶきの子どもがいました。お兄さん、お姉さんが「どうしたん?」と様子を気にかけてくれ、理由を説明すると「あっちにおちてたよ」と教えてあげ一緒に探してあげる姿がみられました。

結局、どんぐりは見つからなかったのですが、この時、優しくしてもらった 経験は子どもたちに暖かい気持ちとして残り、きっと次につながっていくと 思います。

これから、園外にもどんどん出掛け、みんなで「秋探し」を楽しみたいと思います。そして自然を通して秋へと変わっていく様子に気付いたり、見つけたり、教えてもらいながら子どもたちの関わりも一段と深まっていければと思います。

